

今あるものを大切に使う

お気に入りのウェアや洋服を購入したあと、どのくらいの期間着ていますか？
衣類を1着作るためには、多くの資源やエネルギー、人の手が必要です。



なぜ長く使うことがSDGsにつながるの？

- 衣類の生産には水やエネルギーが必要
- 輸送や販売にも多くの資源を使用
- 長く着ることで新たな資源消費を抑えられる

近年は大量生産・大量消費による環境負荷も課題となっています。

一着を長く愛用することは、新たな資源消費の抑制につながり、環境への配慮にもなります。



長く使うための工夫

- ・洗濯表示に従ってお手入れする
- ・ハンガーやたたみ方を工夫する
- ・完全に乾かしてから収納する
- ・ほつれやボタン外れは早めに直す

こうした小さな積み重ねが、お気に入りの服を長持ちさせることにつながります。



SDGsというと大きな取り組みを想像しがちですが今あるものを大切に使うことも立派な行動です。
服を長く使うことは資源を無駄にせず、環境への配慮にも役立ちます。
その価値を意識しながら大切に使うことが、持続可能な社会への一歩につながります。
お気に入りの一着を少しでも長く愛用することから、身近なSDGsを始めてみませんか。

～編集後記～

クローゼットの中にあるお気に入りの一着を、これからも大切に着続けたいと思いました。
身近なところからできるSDGsについて、改めて考えるきっかけになれば嬉しいです。

■服1着ができるまで

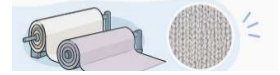
原料をつくる

↓



生地をつくる

↓



裁断・縫製する

↓



輸送する

↓



お店に並ぶ



1着の服は、原料づくりから販売まで多くの工程を経て完成します。

たくさんの人の手によって、私たちのもとへ届けられています。



今月のこの人

BAJ

H・Sさん

子どもが生まれて徒歩や自転車移動が増えたのですが、車から変えるだけで1kmあたり約130gのCO2削減になるそう。

杉の木1本が1日に吸収するCO2量は約25g～30gほど。つまり、杉の木1本が約5日間かけて必死に吸い込んでくれるCO2の量！

スマホを1回フル充電する際に出るCO2はおよそ4～5g程度。1km車を使わないだけで、スマホをほぼ1ヶ月分フル充電できるくらいの電気（エネルギー）を節約したのと同じ計算になります。

休日に手作りお弁当を持って公園へ行ったり、空箱や空容器をおもちゃにして遊んだりしていたのですが、これも「リデュース（ごみを減らす）」という立派なエコ活動なのだそうです。

「SDGsのために！」と気負わなくても、日々のちょっとした工夫や楽しみが、自然と地球に優しい行動に繋がっていたんだと嬉しくなりました。